

参考資料

- ◆ 現地調査概要 5 3
- ◆ 幼稚園施設整備指針の対象施設の考え方 7 9
- ◆ 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議設置要綱 8 0
- ◆ 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
幼稚園施設部会の設置について 8 2
- ◆ 検討の経緯 8 4

現地調査概要

幼稚園施設における現状の課題把握や好事例の収集等を行うため、設置主体や施設規模等にも配慮しつつ、以下の13園について現地調査を実施した。

<視察先一覧>

施設名	分類		所在地	ページ番号
美晴幼稚園	私立	幼稚園	北海道札幌市	54
恵庭幼稚園	私立	幼稚園	北海道恵庭市	56
江戸川区立船堀幼稚園	公立	幼稚園	東京都江戸川区	58
国立大学法人 お茶の水女子大学附属幼稚園	国立	幼稚園	東京都文京区	60
中央区立豊海幼稚園	公立	幼稚園	東京都中央区	62
港北幼稚園	私立	幼稚園	神奈川県横浜市	64
ゆうゆうのもり幼保園	私立	幼保連携型認定こども園	神奈川県横浜市	66
せんりひじり幼稚園	私立	幼保連携型認定こども園	大阪府豊中市	68
あけぼの幼稚園	私立	幼稚園型認定こども園	大阪府豊中市	70
認定こども園 Kids まゆみ	私立	幼保連携型認定こども園	大阪府和泉市	72
はまようちえん	私立	幼保連携型認定こども園	兵庫県尼崎市	74
認定こども園さざなみの森	私立	幼保連携型認定こども園	広島県東広島市	76
国立大学法人 福岡教育大学附属幼稚園	国立	幼稚園	福岡県宗像市	78

美晴幼稚園

【幼児数】

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
-	-	-	30名	39名	40名	109名

運営形態	私立幼稚園	クラス数	3クラス（3～5歳児の異年齢構成）
所在地	北海道札幌市	構造・規模	本園 RC 造 2階建 別敷地内建物 RC 造 2階建
敷地面積	本園 812 m ² 別敷地 10,614 m ²	延べ床面積	本園 677 m ² 別敷地内建物 230 m ²

（平成 29 年 5 月現在）

園の教育方針・特色等

教育方針

- 差別しない心（自分と同じように他の人やものごとを思いやれる子）
- 心身ともに健康（どんなことにも挑戦する意欲のもてる子）
- 夢や希望に向かって努力する（問題に自ら立ち向かい知恵と勇気をもって解決する子）

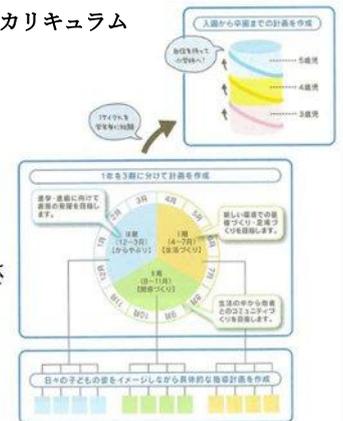
教育カリキュラム

異年齢混合でのクラス編成から、各学年を1サイクルとした、らせん状に構成されたカリキュラム

インクルーシブ教育の推進

ユニバーサルな環境でじっくりしっかり育ちあう

カリキュラム



※園のパフレットより引用

施設概要

本園の美晴幼稚園は、昭和 39 年築、平成 7 年改築。

本園の他、3000 坪の傾斜地を含む雑木林の敷地（プレイガーデン）にプレイホールガリバーと呼ばれる建物を整備し、本園での活動と併せて、四季を通じて自然との関わりを持てる環境をつくっている。



本園



※園のパフレットより引用

プレイホールガリバー



▲プレイホールガリバーは、建物裏手の雑木林に溶け込むように両面をガラス張りとし、内部は木質化している



▲プレイガーデンの雑木林では、障害の有無に関わらず、豊かな自然環境での遊びを通して、危険を回避する力を身につけていく。



▲プレイホールガリバー正面

教育面や施設面の工夫・取組

- ・ 子供たちの安全性を気にする余り、多様な経験ができなくなる事もある中、小さな怪我をする事も成長へつながるという信念のもと、様々な遊び場が提供されている。
- ・ プレイガーデンの畑、花壇、実のなる木、がけなどは、多様な体験を誘発する自然との触れ合いの場であり、自分たちで遊びを考え出す場となっている。
- ・ 固定遊具がないため、子供が自ら工夫して遊んでいる。特別な訓練ではなく、子供がしたいと思ってチャレンジしたことが、結果として身体能力を高めることに役立っている。
- ・ プレイホールガリバーのテーブルは、掘りごたつ式で、必要なときに必要な数だけ机を出すことができる。たたんでしまえば、広くホールのようにも使える。

その他、地域との連携や送迎時の配慮、子育ての支援の取組等

- ・ プレイガーデン内に経営母体を同じくする0～2歳の小規模保育園もあり、普段は0～6歳の子供が交流できる。また、卒園生プログラムがあり、小学生の子供も活動する拠点となっている等、幼小のつながりを大事にしている。
- ・ プレイホールガリバーは様々な地域の行事、コンサートなどにも使われていて、地域とのつながりが形になっている。



▲プレイホールガリバーのホールでは、演奏会を行うなどの地域との連携にも対応できる。



▲プレイガーデンは、子供の日常的な活動だけでなく、様々な人との交流の場となる



▲プレイガーデンの一部にある菜園では、生活の一部として四季や自然を体験できる



▲こぢんまりとした2階部分メリハリのきいた空間により多様な使い方が可能となっている。



▲遊び方の決まっていない遊具では子供が自ら遊びを考え、学んでいく。



▲卒業生や保護者によって作られた遊具で遊ぶ子供



▲プレイホールガリバー裏手の雑木林



▲木質化した建物内（玄関からホールに抜ける廊下）



▲普段は床下に収納されているテーブル等、可変性のある家具は、空間の使い方に幅を持たせる。

恵庭幼稚園

【幼児数】

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
-	-	48名(子育て支援)	70名	74名	72名	264名

運営形態	私立幼稚園	クラス数	11クラス
所在地	北海道恵庭市	構造・規模	RC造2階建
敷地面積	2,300,002㎡	延べ床面積	1645.16㎡

(平成30年2月現在)

園の教育方針・特色等

教育目標

1. 生命を大切にする子ども (仏/慈心不殺)
2. 正しい生活を営める子ども (法/仏道成就)
3. よい社会を作り出す子ども (僧/正業精進)

教育カリキュラム

教育内容	遊ぶ	学ぶ	育つ
	3歳(年少)	4歳(年中)	5歳(年長)
	自立と自我の芽生えを培うために遊び込む	生活と想像の基礎基本を繰り返し学ぶ	自分たちで生活を創り、豊かな表現力を培う
活動スタイル	遊び込み(自由遊び)	遊びと習得(設定保育)	自ら動く(アクティブラーニング)
学級編成	17~18人(4クラス)	23~24人(3クラス)	17~18人(4クラス)
教員体制	チーム保育(学年8人)	担任制(1クラス2人)	チーム保育(学年5人)
教員配置	園児9人につき1人	園児12人につき1人	園児15人につき1人

施設概要

昭和60年築、平成21年改築。

毎年、少しずつ改修を行い、徴収している施設整備が必ず園児や保護者に還元されるようにしている。



園庭



※図のパフレットより引用



▲毎日のスケジュールはボードに書き出し、子供は自分でそれを見て自主的に行動する。



▲幼児が集中して創作活動に取り組める保育室内のお絵かきコーナー。



▲馬蹄型に並べた可動式の椅子兼棚は用途に合わせて様々な使い方が可能。

教育面や施設面の工夫・取組

- ・ 教育課程で示されている教育内容が行えるように、室内及びトイレのしつらえを子供の発達状態によって変え、教育理念・方針に沿った園舎計画としている。外から内部が見え大人が仕事をしているのがわかる事務室、廊下にオープンなトイレ、掘りごたつ式収納可能な机、熱量が目で見える薪ストーブ、U字の移動可能な収納も兼ねる3段の組立式座席、など理念に裏打ちされた創意工夫の空間が見られる。
- ・ 園庭は、木登りのできる樹木、花の咲く木、果樹など変化に富む植栽があり、常設のプールだけでなく、夏場には園庭を掘り起こして創る大きな水場、花壇・畑・水田、小川、飲料にもなる井戸の水など子供たちが自然に関わって自ら探求できる環境があるだけでなく、子供が知らず知らずのうちに身体を動かすことができるような仕掛けを設けている。
- ・ トイレがきれい、保育室や職員室からよく見えるオープンな空間である。年齢に応じてそのあつらえも考えられており、子供たちの自立を促しつつ、教師側の援助もしやすい配慮がされている。

その他、地域との連携や送迎時の配慮、子育ての支援の取組等

- ・ 保護者が送り迎えの際にちょっとくつろいだり、教職員や保護者同士で話したりできる空間があり、これは子育ての支援にとって非常に重要な意味をもつ施設整備である。
- ・ 視察時には、改修により、教員の休憩室が作られていた。職員のための空間を充実させることは、今後、幼稚園教諭の働き方を変え、長く勤務して経験を積み、研究的に保育を振り返り、質の高い教育ができる教員を育てていくことにつながると考えられる。



▲壁に課題とやり方を記載した紙を貼り、興味を持った子供は自ら読み取り学ぶことができる。



▲家庭には大人用便座しかないことを考慮して、大人用便座と子供用便座両方を設置。



▲保育室の床に収納できるテーブルを設け、用途にあわせて活用している。



▲玄関脇の暖炉を囲む交流スペース。



▲広々とした職員室はガラスの扉で中の様子がよくわかり、保護者にとっても職員と会話しやすい環境となる。



▲子供が自ら土をいじって道を作り、遊びを創造する園庭。



▲夏の間、園庭に重機で穴を掘り、ビニールシートを敷いて水遊び場にする。秋が来たら埋め戻している。



▲園庭の段差や石も子供の遊具であり、遊び場でもある。



▲田んぼや畑でとれたものを食べることで四季や生活に根ざした“食”を経験できる。

江戸川区立船堀幼稚園

【幼児数】

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
-	-	-	-	105名	105名	210名

運営形態	公立幼稚園	クラス数	6クラス
所在地	東京都江戸川区	構造・規模	RC造2階建
敷地面積	4101.93 m ²	延べ床面積	1523.28 m ²

(平成29年4月現在)

園の教育方針・特色等

教育目標

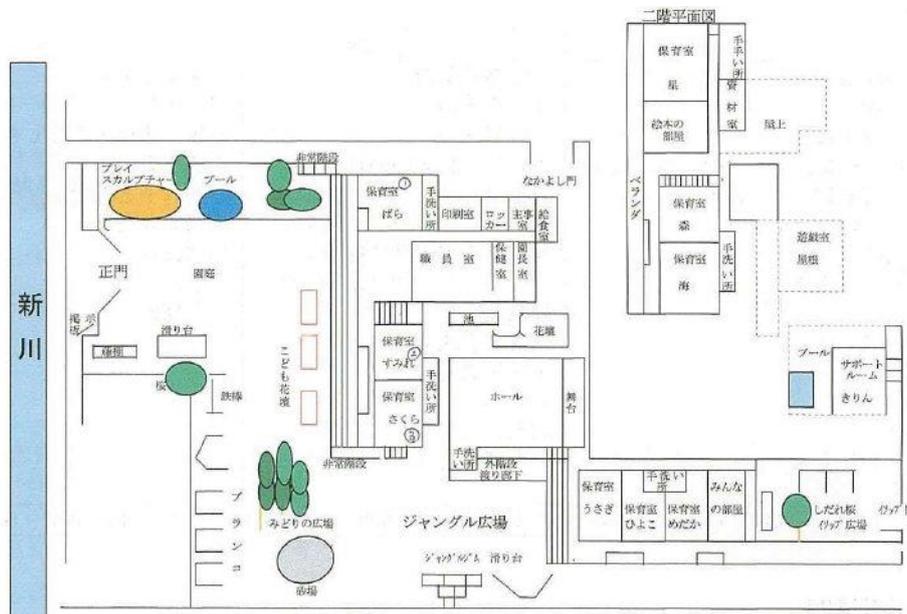
「心も体も健康な船堀の子ども」を育てるために次の目標を設定する。

- ・ 元気な子ども・・・健康な心と体を育てる
- ・ 明るい子ども・・・自発性や主体性を育てる
- ・ 考える子ども・・・思考力や創造力を育てる
- ・ 思いやりのある子ども・・・社会性や豊かな心情を育てる

教育目標を達成するための基本方針

- ・ 足育（あしいく）・・・健康な体を育てる
- ・ 心育（こころいく）・・・健康な心を育てる
- ・ 遊育（あそいく）・・・遊びで豊かな学びを育てる
- ・ 食育（しょくいく）・・・食で育てる
- ・ 共育（ともいく）・・・幼稚園・家庭・地域・で育てる 職員みんなで育てる

施設概要



▲樹木や花壇等で変化が付けられた園庭。幼児は思い思いに自分たちの場所を見つけて遊ぶ。

教育面や施設面の工夫・取組

- ・ 園庭が広く、藤棚や、様々な遊びができる遊具、木陰や花壇、大きな砂場など、変化に富んだものとなっており、遊びを通して多様な体験をすることができる環境となっている。
- ・ 絵本の部屋が設けられており、落ち着いて本に親しむことができる環境が整備されている。
- ・ 園内には、魚や亀などたくさんの動物が飼育されており、園児と動物との触れ合いが日常的に行われている。
- ・ 職員室の前に広いスペースが確保されており、遊びの場や雨天時の降園等のフリースペースとして使用されている。

その他、地域との連携や送迎時の配慮、子育ての支援の取組等

- ・ 増築棟では、江戸川区が行うあいあい事業（0歳児からの子育ての支援事業）のためのスペースとして活用。また、2階には、預かり保育用の専用スペースを設けており、地域の子育ての支援センターとして活動を行っている。
- ・ PTAの活動場所として「みんなの部屋」が用意されており、大人数の良さを生かして、幼稚園・地域・保護者が一体となった様々な活動が行われている。
- ・ 近年では、外国籍の幼児も多く受け入れている。



▲保育室内の風景。床に木材を使用することにより、季節を問わず床に座り込んで遊ぶことが可能。幼児が遊びの場を積み木やゴザなどで作って遊んでいる。



▲図書コーナー。落ち着いて本に親しむことができる。



▲教材や教具が整然と並べられた資材室。独立したスペースを確保。



▲多目的に使用可能なホール。



▲部屋の一角に畳が敷かれた、預かり保育用のスペース。



▲園庭から園舎を臨む。園庭と保育室が連続した空間として機能。



▲スケジュールやお知らせなどが記されたホワイトボード



▲見た目も楽しい遊具。

お茶の水女子大学附属幼稚園

【幼児数（定員）】

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
-	-	-	40名	60名	60名	160名

運営形態	国立大学法人附属幼稚園	クラス数	6クラス
所在地	東京都文京区	構造・規模	RC造1階建
敷地面積	約3,300㎡	延べ床面積	1,244㎡

(平成29年4月現在)

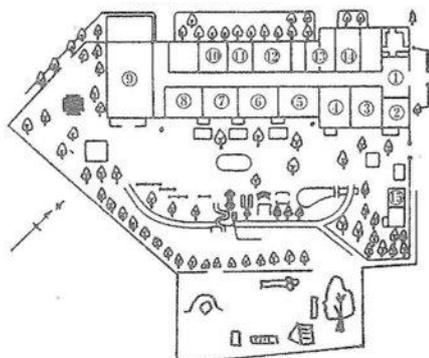
園の教育方針・特色等

教育目的

- お茶の水女子大学附属幼稚園は入園した幼児を保育して、心身の発達を助けることを目的とします。とくに、つぎのような子どもに育てようとしています。
 - からだがじょうぶで、元気がよい。
 - 友だちと仲よく遊ぶ。
 - 思ったことははっきり話し、人の話をよく聞く。
 - 自分のことは自分でする。
 - ものごとにいきいきした興味をもつ。
 - 創意工夫したことを楽しんで表現する。
- 本幼稚園は、お茶の水女子大学の附属として、幼児教育の理論と実際に関する研究をします。
- 本幼稚園は、お茶の水女子大学学生にとっての保育、教育の実習と研究の場でもあります。
- 本幼稚園は、研究や保育の実際を公開して、幼児教育の進歩向上に貢献します。

施設概要

平面図

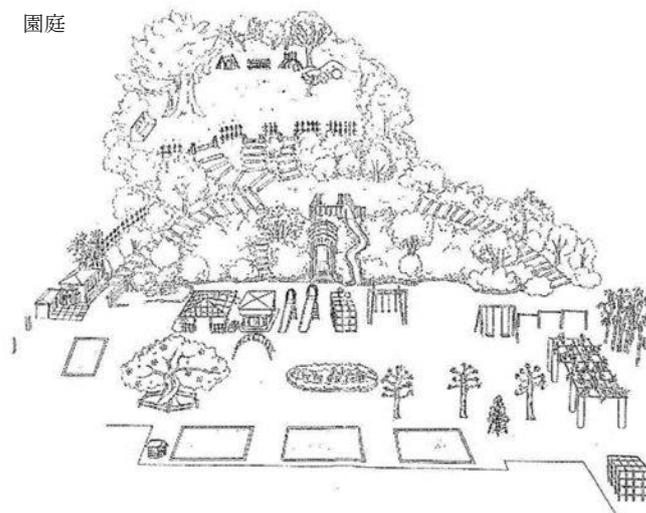


- | | | |
|--------|-------|------------|
| ① 玄関 | ⑥ 海の組 | ⑩ 園長室 |
| ② 用務員室 | ⑦ 林の組 | ⑪ 職員室 |
| ③ 森の組 | ⑧ 池の組 | ⑫ 手洗所(男・女) |
| ④ 川の組 | ⑨ 遊戯室 | ⑬ アトリエ |
| ⑤ 山の組 | ⑭ 保健室 | ⑮ 子どものうち |

施設

- 園舎
 総建坪 約1,262平方メートル(約382坪)
 保育室(6)・遊戯室・保健室
 園長室・職員室・アトリエ
 手洗所(男女別・多目的)
 用務員室
 子どものうち
- 遊園
 総面積 約3,300平方メートル(約1,000坪)

園庭



※園のパフレットより引用



▲保育室。家具は建設当時のものも使い、モノの大切さを伝えている。



▲保育室内の流し。人研ぎは建設当時のものを活かして利用している。



▲各保育室の入口欄間部分には、その組をイメージしたスタンドグラスを配している。

教育面や施設面の工夫・取組

- ・ 登園靴・上靴・園庭活動靴の3つを用意し、保育室と園庭の行き来をスムーズにしている。園庭は高低差を生かしつつ、固定遊具や花壇、樹齢がある大木や草原（芝生ではない）で構成された豊かな環境を有し、運動会も園庭を工夫して利用している。
- ・ 研修や研究、日常の保育を通して、クラスや学年を超えて情報共有し、保育者の資質を高めている。
- ・ 広い園庭や園舎での自由な遊びを通して、子供の危険回避能力の涵養を促し、安全の確保や保育の充実を図っている。
- ・ 家具は創設当時から大切に引き継がれ保育や生活の中で使用されている。また、家具の特徴をいかし子供の生活や活動に身近に取り入れられるように、工夫している。
- ・ 外壁はスクラッチタイル張りの平家のコンクリート建築で中廊下式、天井も高く、スケールの高い幼稚園らしさはないが、調度品のスケールが子供のスケールに合わせたもので、違和感はなく、天井の高さとともに落ち着きを与える。

その他、地域との連携や送迎時の配慮、子育ての支援の取組等

- ・ PTAの活動が活発で、複数の委員会が保育支援を行っている。また、PTA室は園舎北側に確保されている。
- ・ 通園手段は保護者付添いの徒歩や公共交通機関を使用した送迎で、年長は玄関まで、年少・年中は保育室までの送りとなり、帰りの引渡しは玄関にて行っている。玄関やコート室は広く配置され、園舎の環境をいかした送迎方法となっている。



▲玄関脇に配されたコート室。コート掛けは創設時から大切に使用されている。



▲入園式や誕生会を行うと共に、日常の遊びの場ともなっている。
※園より提供



▲職員室。家具で仕切られた奥のスペースを更衣スペースとして使用。
※園より提供



▲トイレブースも、あえて建設当時のデザインを残している



▲教材室。整然と整理・整頓がなされている。
※園より提供



▲幅3mの広い廊下も園児の大切な遊びのスペース。お店屋さんごっこが始まったり、異年齢間の交流スペースにもなる。
※園より提供



▲園庭の最上部は自然と触れあえる草原。奥に見えるのは直径170cmのイチョウの大木。



▲運動会も、園庭で工夫して開催している。



▲高低差のある園庭の緑道は幼児にとって格好の遊び場となる。

中央区立豊海幼稚園

【幼児数】

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
-	-	-	85名	83名	76名	244名

運営形態	公立幼稚園	クラス数	10クラス
所在地	東京都中央区	構造・規模	RC造 地上5階地下1階建 (幼小一体型・幼稚園は1階部分)
敷地面積	9,646.66㎡	延べ床面積	14,189.10㎡ (幼稚園は2,153.14㎡)

(平成29年5月現在)

園の教育方針・特色等

教育目標 げんきな子 やさしい子 がんばれる子

今年度の重点目標

重点目標1 心身ともに健康な子どもを育てる。

○新園舎の環境を生かした運動遊び・基本的生活習慣の確立・諸文化に触れ親しむ体験

重点目標2 好奇心旺盛に遊びや活動に取り組める子どもを育てる。

○植育の推進・試行錯誤や表現の喜びが味わえる経験

重点目標3 人とのかかわりを楽しめる子どもを育てる。

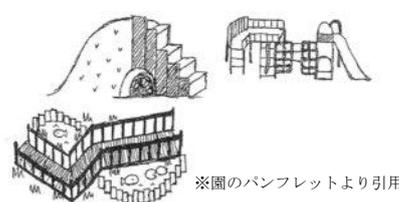
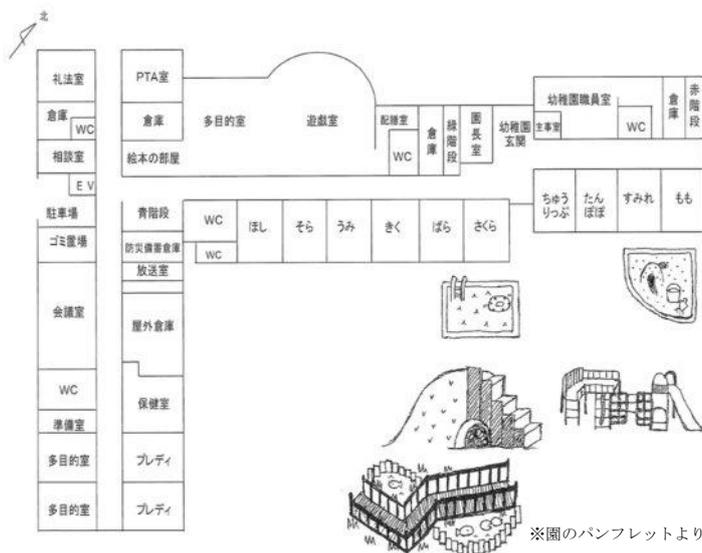
○大規模園の利を生かした活動・異年齢交流・地域や他校種との交流

施設概要

小学校との複合施設であり、園児・児童の増加に対応するため、平成29年に改築。都内公立幼稚園一の規模。

中廊下(約130m)の1階に10室の保育室と絵本の部屋、礼法室(和室茶室)、多目的室、遊戯室を配置。教材室は4室確保され、保育活動の環境整備に努めている。

平面図



※園のパフレットより引用



※園より提供

▲廊下幅は3mあるため、イメージのある遊びや運動遊びのサーキットコース(写真)等、様々な活動が可能。



※園より提供

▲65㎡の全室南向きに配置された。廊下に面した扉は全て吊り下げ式となっており、床面にレールがないため、一層の広さを感じさせる効果がある。



※園より提供

▲主事室周辺は廊下・通路と地続きで広い空間のため、異年齢交流の場としても活用している。また園長室はこの前に位置している。

教育面や施設面の工夫・取組

- ・ 保育室は余裕をもった面積を確保する、多目的室と遊戯室の展開性に配慮する、可動式のステージの高さを巧技台の高さに合わせるなど、施設面において、細部まで配慮がなされている。
- ・ 改築時に前校舎（園舎）の反省をいかし、幼稚園と小学校スペースのゾーン分けを図りながら、児童間交流が有機的に機能する様配慮された計画となっている。特に屋外環境は園児や保護者の動線から明確にゾーン分けされており、植栽や固定遊具、菜園などは教育・保育活動にいかされるものとなっている。
- ・ 上部階の3m程のバルコニーが1階幼稚園部分の底となっており、雨天時の活動や保護者の送迎時に有効にいかされている。
- ・ 3歳児のトイレは十分なスペースとベンチが用意され、安心して排泄できる環境となっている。
- ・ 保護者の動線や保育室への視認性などに配慮されている。

その他、地域との連携や送迎時の配慮、子育ての支援の取組等

- ・ 絵本の部屋や多目的室を合理的配慮を要する園児の保育や支援にいかしている。
- ・ 小学校との会議室の共有や管理職の毎朝のミーティング、職員玄関（小学校職員室前）の共有を通して日常から連絡・交流が円滑になされ、児童間交流とあわせ、幼小接続を充実させる環境が整っている。



▲上部階のバルコニーが1階幼稚園部分の底となり、雨天時の活動や保護者の送迎時に有効にいかされている。
※園より提供



▲奥のトラックは幼稚園専有。行事前や活動によって幼小で連絡を取り合い、全面使用することもある。
※園より提供



▲校庭に面した幼稚園プール。面積45㎡、水深65cmと十分な大きさを確保し、ダイナミックな活動を可能とした。
※園より提供



▲校園庭の一角に設けられたプランターではトマトやキュウリを栽培している。
※園より提供



▲風力発電で循環る過されているビオトープ。四季折々の自然に親しむことができる。
※園より提供



▲職員室、手前の長机・薄緑席は非常勤職員用スペース
※園より提供



▲トイレ（男女兼用）、奥は幼児用更衣室で職員室とつながっている。
※園より提供



▲一体的に使用できる多目的室と遊戯室、用途に応じてネットで分割可能。
※園より提供



▲職員室奥に設けられた保健コーナー。大人も使用可能な折り畳みベッドが二台収納されており、カーテンで間仕切りが可能。保健用冷蔵庫や手洗いも設置。
※園より提供

港北幼稚園

【幼児数】

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
-	-	-	76名	89名	95名	260名

運営形態	私立幼稚園	クラス数	6クラス
所在地	横浜市都筑区	構造・規模	木造2階建
敷地面積	2,819.5㎡	延べ床面積	993.63㎡

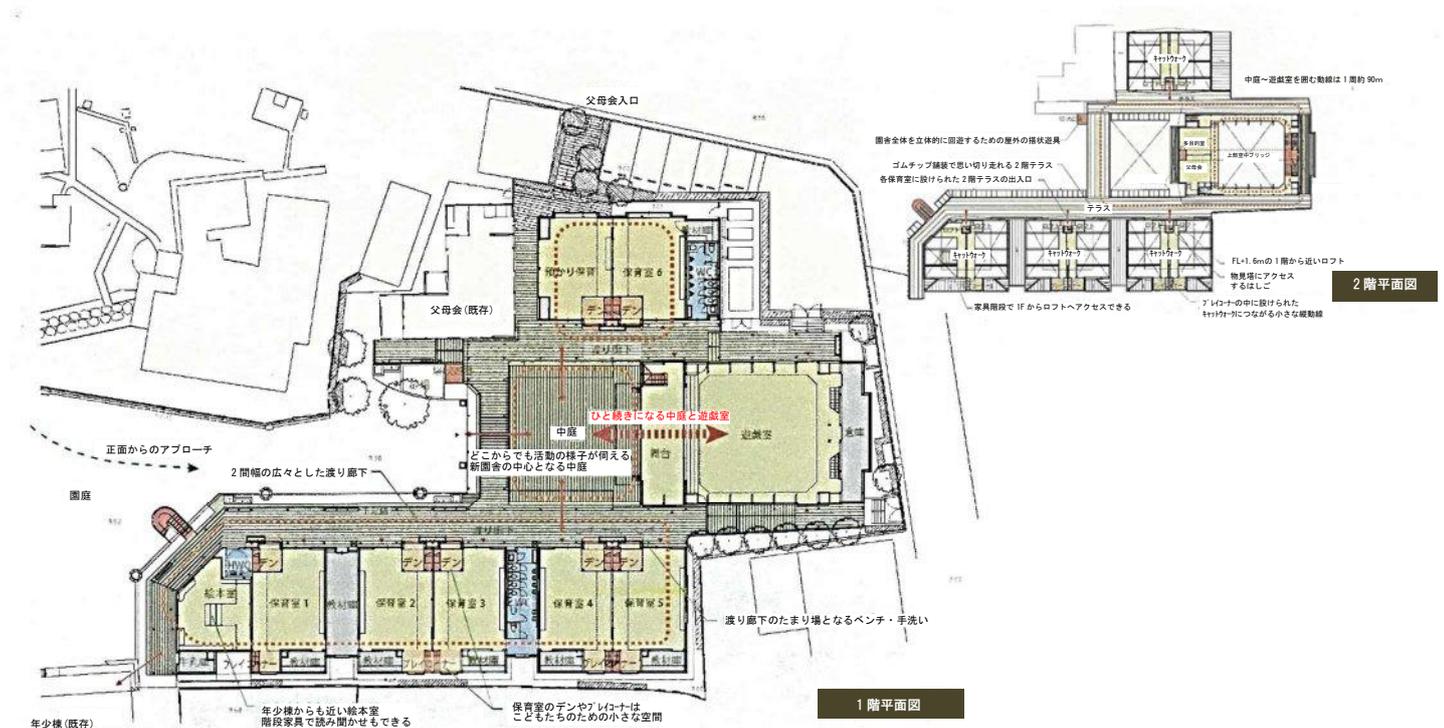
(平成27年4月現在)

園の教育方針・特色等

- 保育方針**
- (1) 生き生きとした子ども 子ども自身が生きる力を持つ子ども
 - (2) 思いやりのある子ども 人の気持ちや痛みを感じる力を持つ子ども

施設概要

平成26年に増築棟が完成。既存園舎は事務室等として利用。
増築棟の1Fは渡り廊下、2Fはテラスによって各保育室が繋がっている。



※図のパネルより引用



▲各保育室をつなげるテラスからは普段と異なる景色を見ることができる。



▲半屋外の広々とした渡り廊下は、送迎時に保護者が滞留できるスペースにもなる。



▲木架構の遊戯室。

教育面や施設面の工夫・取組

- ・ 日常生活では行わない、「かがむ、はう、伸ばす、転がる、ゆする」などの身体を多様に動かす運動が自然とできるような園内空間を立体的につなぐ装置、構造や遊具（子供サイズの小部屋や通路を兼ねた立体遊具等）を設置、園舎全体が有機的な遊具となるデザインとなっている。また、テラスは上から見下ろすなどの普段はできない空間認識が可能になる。
- ・ 広い半屋外の渡り廊下は、室内外の見通しもよく、子供たちの遊ぶスペースとして有効である。
- ・ 各保育室の外側の渡り廊下に靴箱があり、子供たちはそこから登降園を行うため、降園時に長時間保育の子が短時間保育の子を迎える保護者を見なくてよいような配慮がされている。
- ・ 二つの保育室の間に共有する教材室があり、子供に応じた環境の再構成が可能である。
- ・ 園庭は土で木陰もあり、水を使って泥や砂遊びを楽しめる。

その他、地域との連携や送迎時の配慮、子育ての支援の取組等

- ・ 近接する姉妹園（距離約 500m）であるゆうゆうのもり幼保園と機能分担を図りながら、一時預かり保育などを実施。時間外保育も教育の一環と見なし、多様なメニューを用意している。
- ・ 保護者のサークルが活発で、園の教育にも貢献している。
- ・ 保護者の自家用車での送迎や行事参加のため、近隣に100台駐車可能な駐車スペースを確保している。



▲保育室



▲保育室内ロフト部



▲保育室の上部にあるロフトからテラスへ出て行ける。



▲保育室内にあるデンは子供のための小さな空間。



▲園舎の中心となる中庭。



▲遊戯室から中庭は窓を開けると一続きにつながる。



▲絵本室にある階段家具では読み聞かせも可能。



▲渡り廊下のたまり場となるベンチ・手洗い



▲高低差のある園庭を活用し、階段状にデッキを設置。

ゆうゆうのもり幼保園

【幼児数】

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
6名	10名	11名	61名	61名	61名	210名

運営形態	私立幼保連携型認定こども園	クラス数	11クラス
所在地	横浜市都筑区	構造・規模	RC造2階建
敷地面積	2,433.50 m ²	延べ床面積	1,540.45 m ²

(平成27年4月現在)

園の教育方針・特色等

- 保育方針**
- (1) 生き生きとした子ども 子ども自身が生きる力を持つ子ども
 - (2) 思いやりのある子ども 人の気持ちや痛みを感じる力を持つ子ども

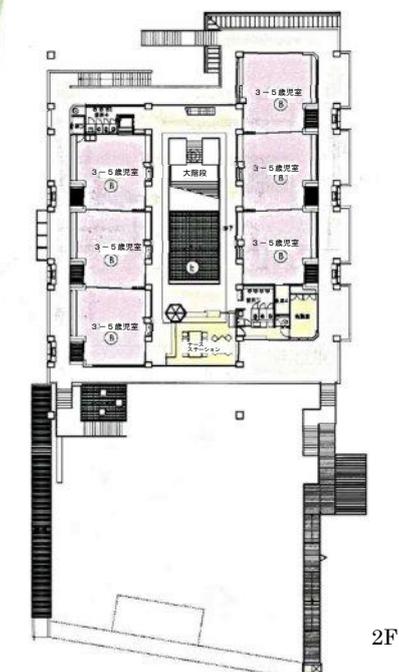
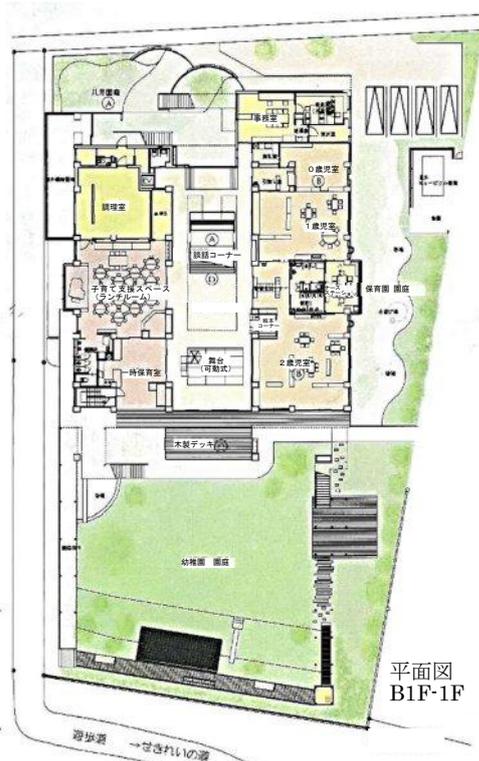
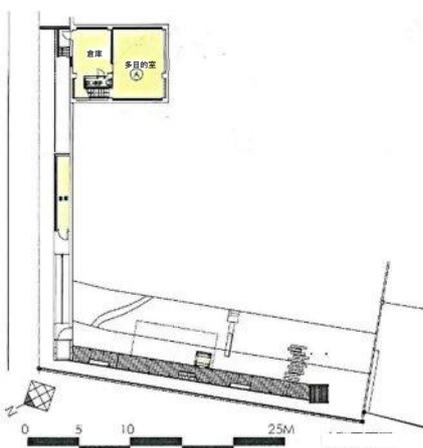
保育の目標

- (1) 愛され、暖かい雰囲気の中で人との信頼関係を広げていく
- (2) 安定した生活の流れの中で欲求が満たされ生活の仕方を身に付けていく
- (3) 豊かな環境の中で、心身を使って、生活・遊びの経験を重ねていく

施設概要

傾斜地を利用して設計者の設計理念と設置者の教育方針（子どもが自発的・主体的に自律性をもって遊ぶなかで成長・発達する）を具現化するために園庭と園舎を一体化して整備。

1階に保育所機能、2階に幼稚園機能を配置。



※園のパンフレットより引用



▲共用ホールの大階段は遊びの場であると同時に客席や舞台としても活用している。



▲ホールの上に広がる大ネットでは、園内にいながら大きく体を使った遊びが可能。



▲大ネットで遊ぶ子ども

教育面や施設面の工夫・取組

- ・ 2階への大階段を持つ共用ホールは、階段部分を客席とする開かれた広場であるとともに、普段の遊び場としても使える生きた空間となっている。
- ・ 保育室同士が様々な動線で行き来できるように計画され、特に、はしご、らせん状の階段、大ネット、ネットのトンネルなどは、自然な形で子供の多様な動きを引き出すことにつながっている。
- ・ 各保育室の外側の渡り廊下に靴箱があり、子供たちはそこから登降園を行うため、降園時に長時間保育の子が短時間保育の子を迎える保護者を見なくてよいような配慮ができています。
- ・ 保育に参加する人々が互いのスペースや様子を視認できる空間構成と工夫がなされ、園舎園庭ともに死角をカバーしている。
- ・ 園庭は土で木陰もあり、水を使って泥や砂遊びを楽しめる。

その他、地域との連携や送迎時の配慮、子育ての支援の取組等

- ・ 卒園生を小学生ボランティアとして受け入れており、縦のつながりの中で育つ環境となっている。また、保護者のサークルが活発で、園の教育にも貢献している。
- ・ 外部の遊歩道から地階の多目的室（通常はPTA会室）に、休園日でも入室できる管理としている他、小学生の保育参加や保護者の保育参加を日常的に実施している。



▲3-5歳児のクラスルームには屋根裏部屋のようなプレイコーナーがあり、様々な遊びに取り組める。



▲室内各所に遊具を設置し、自然な形で子供の多様な動きが引き出せるような工夫がされている。



▲職員室は中がよく見えるように大きな窓を設けている。



▲ランチルーム



▲保護者が集まれる地下の多目的室。



▲子供のサイズに合わせた多様なスペースを設置。



▲各教室に直接アクセスする半屋外の外廊下。



▲園庭に向けて広がる大きな木製デッキは汚れを気にせず、のびのびと活動できる。



▲園庭。